

# 遠賀

No.169 2023. 2.25

おんがちょう

発行／福岡県遠賀町議会

## 議会だより



### 上手にできるかな

令和4年12月18日（日）

ゆ〜くりと。イゾイゾその調子！  
働く車コーナーでのバックホウ（ユンポ）を運転しているところです。  
少し肌寒い<sup>ひより</sup>日でしたが、たくさんの子ども連れの町民が集い、にぎやかな得トクまつりでした。

特集 新春対談	・・・	2
12月定例会	・・・	4
一般質問	・・・	7
議員研修会など	・・・	10



# 新春対談



**謹んで年頭のご挨拶を申し上げます**

町民の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。また、日ごろから町議会に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回、遠賀町消防団の峯俊一団長との対談の機会をいただきましたので、その対談の様子を一部ご紹介します。

遠賀町議会 議長 仲野 新三郎

**議長** お忙しい中、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。より良い対談となることを期待しています。本日はよろしくお願ひします。

## 長年にわたる消防団活動

**議長** 長く消防団活動を続けてこられた中で、消防団の魅力を教えてください。

**峯団長** 入団してから、いろいろな方と知り合ひまして、友達も増えましたし、地区の方とも仲良くすることもできました。住民の方がどこにおられるかも把握できました。多くの方と知り合えたことが一番ですね。

**議長** 褒章を頂いたことに対して思うことはありますか。

**峯団長** 平成23年に藍綬褒章を

頂きました。当時の町の消防主任と一緒に引っってもらいました。妻と2人で出席し、天皇陛下よりお言葉をいただき感動しましたね。大変良い思い出となりました。

## 災害対応

**議長** 町民の最大の関心事は災害に関してだと思いますが、消防団として具体的な活動を想定して、またそれに応じた訓練をされているのでしょうか。

**峯団長** 今は火災が少なくなりまして、年間で2件ほどです。火災発動時には、消防団は延焼を防ぐことが主な役目です。消防署から指示があれば燃えている建物の外から消火活動をすることもあります。

**議長** 水害に対してはどのようにお考えですか。

**峯団長** 近年は、雨による水害が遠賀町にとって一番心配される災害です。昔は水防訓練というのがありまして、飯塚方面の河川敷まで行っていました。消防署、自衛隊も参加し、川に橋を架けて車両を渡したりして。消防団は土嚢を作って、シート工法などのさまざまな工法を訓練していました。現在は行われていないのですが、これは復活させる



令和5年 遠賀郡消防合同出初式にて

べきではないかと考えます。河川の土手も強固になってきていますが、いっとうなるかは分かりません。



対談は和やかに進みました

**議長** 発災時の町との連携はどのようにされていますか。

**峯団長** 各分団は格納庫に集結して待機、幹部は役場の会議に参加して組織に入ることになっていきます。昔は地場で頑張っている人が団員として多かったのですが、今は職場が町外のサラリーマンの団員が多いです。ですから、昼間に発生した火災の場合は、どうしても人数が限られてしまう現状です。現在、各分団（3個分団で構成）に町の職員の方が5名前後ずつ入団してくれています。あと2、3名

増やしていただければ、いざという時、団の運営がしやすいかなりますね。

### 団員の確保について

**議長** 団員の確保についてどのように努めていますか。また、若い方に消防団に入ってもらうために、訴えたいことはありますか。

**峯団長** まず、入団していただくことです。職場が町外となると、夜の場合はいいけど、昼は無理なところがあります。なかなか難しいですね。

消防団員の確保となると、30代、40代、50代も歓迎です。この世代の方は意識も高く、幅広い年代の団員構成が望ましいです。また、各地区の幹

部をお願いして、探してもらっています。厳しいですね。

### 議長

20代の団員は何人いらっしゃいますか。

**峯団長** 1桁代です。20代に限らず、全国的に消防団員の欠員は多いです。遠賀町では定年はありませんので、60歳を超えても残ってくれるよう言っています。

**議長** 本日はありがとうございます。



### 遠賀町消防団団長

みね としかず  
**峯 俊一** さん  
(虫生津)

### 【プロフィール】

#### ～消防団歴～

昭和46年4月 入団  
平成 元年4月 班長  
平成 8年4月 分団長  
平成11年4月 副団長  
平成19年4月 団長

#### ～表彰等～

平成20年3月  
消防庁長官表彰  
(永年勤続功労賞)  
平成23年4月  
藍綬褒章受章



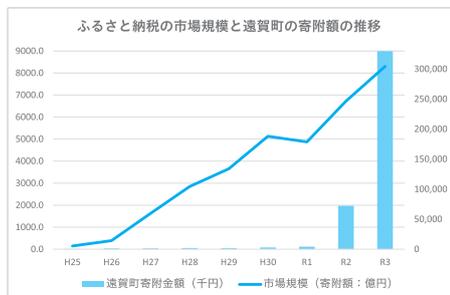
地域防災をよろしく申し上げます

## 遠賀町消防団 総員67名 (定員84名)

- ・ 団長 1名 副団長 2名
- ・ 第一分団 22名  
格納庫所在地：遠賀町大字今古賀  
担当地域：今古賀、遠賀川、木守、旧停、新町、中央、広渡、別府、松の本（主として広渡小学校区）
- ・ 第二分団 20名  
格納庫所在地：遠賀町大字鬼津  
担当地域：尾崎、鬼津、島津、田園、若松（主として島門小学校区）
- ・ 第三分団 22名  
格納庫所在地：遠賀町浅木二丁目  
担当地域：浅木、老良、上別府、東和苑、芙蓉、緑ヶ丘、虫生津、若葉台（主として浅木小学校区）



# 豊かなふるさと遠賀寄附金 大幅UP!



遠賀町のふるさと納税は、地方と大都市の格差是正・人口減少地域における税収減少対応と、地方創生を目的に、平成24年度から始まり、現在11年目となりました。当初は寄附額も少なく100万円から200万円前後でしたが、令和2年に福岡県共通返礼品を設定したことにより大幅に増え、令和3年度には3億2980万円、令和4年度には3億9900万円となりました。

また、令和4年11月にふるなび掲載を開始し、現在4つのサイトで選べます。今後もさらに増えることを期待します。

# 遠賀町職員の定年が延長に!

国の法改正に伴い遠賀町職員の定年年齢を現行60歳から令和5年4月1日から2年に1歳ずつ段階的に引き上げ、65歳になります。

- ・給料は60歳時点の月額額の7割となりますが退職手当は保障されます。
- ・役職定年特例は60歳を超えても管理職を継続できるよう特例を今後設定します。

<定年の段階的引き上げ>

	現行	R5年度 ~6年度	R7年度 ~8年度	R9年度 ~10年度	R11年度 ~12年度	R13年度~
定年	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳

<職員の生年と定年の対応表>

定年 \ 生年	60歳	61歳		62歳		63歳		64歳		65歳	
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
昭和37年度生	60歳 (退職)	(61歳)	(62歳)	(63歳)	(64歳)	(65歳)					
昭和38年度生	59歳	60歳	61歳 (退職)	(62歳)	(63歳)	(64歳)	(65歳)				
昭和39年度生	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳 (退職)	(63歳)	(64歳)	(65歳)			
昭和40年度生	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳 (退職)	(64歳)	(65歳)		
昭和41年度生	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳 (退職)	(65歳)	
昭和42年度生	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳 (退職)

令和4年度  
一般会計補正予算  
8031万円増額  
(万円未満四捨五入)

11月30日から12月8日までの9日間開催されました。  
議案は、条例改正、令和4年度補正予算など7件が上程され、慎重審議を行いました。

第7回目の補正予算は、8031万円を増額し、予算規模は85億5191万円になりました。

【主なもの】

積立金

1571万円

豊かなふるさと遠賀寄附額から返礼品費等を除いた額を基金として積み立てるもの。

寄附金の使い道に「新型コロナウイルス感染症対策・支援への応援」を追加しました。

ふるさと納税記念品

1500万円

町外に在住の方から、寄附をいただいた場合、

金額に応じて記念品を送りするもの。

公園維持費

150万円

浅木地区、浅木公園の樹木伐採業務を委託するもの。



繁茂している浅木公園の樹木

水利施設管理費

100万円

広渡地区、神屋敷井堰の河川占用申請の測量等を委託するもの。

女性認定農業者育成事業費補助金

100万円

新規に認定された女性認定農業者を育成支援するもの。認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画を、市町村が認定した農業経営者・農業生産法人のこと。

新型コロナウイルスワクチン予防接種事業費  
500万円

健康管理システム改修及び予防接種コールセンター業務を委託するもの。

学校給食の非常食購入費  
132万円

災害時等の給食の代替品となる非常食を購入するもの。



そのまま食べられる非常食

契約

(万円未満四捨五入)

(仮称)交流センター建設工事請負契約の変更について  
(賛成多数可決)

おんがみらいテラス建設工事を施行するにあたり、JR近接工事の有資格者の配置や地中支障物の処理のため、工事請負契約を変更するもの。

▽契約金額  
変更前  
9億8391万円  
変更後  
10億702万円

条例廃止

駅前サービスセンターは、おんがみらいテラスへ(全員一致可決)

おんがみらいテラス内に業務の大部分を移管するため廃止するもの。4月よりおんがみらいテラスにて、コミュニティバスの定期券販売などが行われます。

10月 臨時会  
10月24日開催

令和4年度  
一般会計補正予算  
1億1997万円増額  
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第6回目の補正予算は、1億1997万円を増額し、予算規模は84億7161万円になりました。

【主なもの】

住民税均等割非課税世帯家計急変世帯へ5万円(世帯当たり)  
1億1410万円

電力・ガス・食料品等価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい所得が低い世帯に対して給付金を支給するもの。令和4年1月以降に家計が急変した世帯も対象になります。受付は令和5年3月31日まで。

賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席) ※全員一致の議案は除いています。

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議案名	議員名												
12月定例会	(仮称)交流センター建設工事請負契約の変更について	萩本	中野	舛添	萩尾	二村	加藤	(欠番)	田代	仲摩	濱田	平見	織田	仲野
	令和4年度遠賀町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	(議長)

# 委員会レポート



## 議会広報研修会に参加しました

- とき・令和4年11月21日(月)
- ところ・博多サンヒルズホテル
- 講師・吉村 潔よしむら きよ氏
- 演題・『住民の理解と共感をめざして  
これからの議会広報を考える』

### ●講義内容

- これからの広報誌は  
議会を身近に関心をもつ媒体へ。
- 情報は「わかりやすく」「興味ぶかく」。
- 議会と住民をつなぐ参加・対話型メディアへ。
- 議会の役割や存在感が伝わることも重要。
- ウェブやSNS等と連動した広報を強化。

### ●広報誌クリニック

- 本町の広報誌に対してのアドバイスは  
表紙は目を引き、文字の色づかいも適切です。
- 中面は議案ページのメリハリを意識すること。
- 質疑など議会の意見も掲載しましょう。
- 住民参加の特集などを組んでみてください。



広報誌づくりのアドバイスをする講師

「読めばわかる」という発想ではなく、どうすればもっと端的にわかりやすく理解できるか、情報発信の最適化を！  
「文章」は少なめを基本。正確さ、わかりやすさを優先！

## タブレット導入調査 検討特別委員会

令和4年12月2日、タ

ブレット導入調査検討特別委員会を行いました。

今回は「タブレットの運用状況」を議題とし、すでに導入済み議会の本会議中の模様を動画視聴しました。導入から2年程度は、タブレットと紙での併用とし、その後、タブレットのみに移行するとのことでした。

動画視聴後に、今後について各委員より意見が出ました。

●導入済み議会が完全移行してからの運用状況を、さらに調査していく必要があるのではないか。

●導入するとしても、全議員分ではなく、数台で試験的に始めていくべきではないか。

●コストをかけないという点から、まずは議員所有の機器持ち込みか

ら始めてみてはどうか。  
●タブレットを導入する前に、まずは議会運営の事務連絡等の効率化に取り組むべきことがあるのではないかと。

●タブレットの導入コストが下がってから始めればよいのではないかと。  
●運用コストを抑えた構築方法をさらに考えるべきではないかと。



運用状況の動画視聴

次回以降は、遠賀町議会において、タブレット導入に関しての、現段階での調査検討結果を、委員会として令和4年度末までにまとめていきます。

## 遠賀川駅南開発事業 特別委員会

### 駅南開発工事始まる

遠賀川駅南土地地区画整理事業の経過と今後のスケジュールについて、駅周辺都市整備推進室より説明を受け、質疑の後、現地視察を行いました。



駅橋上で説明を受ける委員

令和4年度、福岡県より区画整理における事業認可を組合が受け、「清水建設(株)九州支店」と工事契約を締結し、工事が着手されました。令和7年度から順次土地の引き渡しを開始される予定です。

賀川駅南土地地区画整理組合が主体であり、遠賀町はこの事業を補完します。

12月18日の起工式を報道九建日報12月20日付は、「遠賀川駅の南側に集合住宅地や一戸建て住宅地、商業地などを整備するもの。駅南広場の東西に集合住宅地2カ所、駅南線の沿線に商業地を配置し、その他の用地は住宅地や公園とする計画だ」

「集合・一戸建て、合わせて753世帯約1700人分の住居を確保する予定で、整備が終わった部分から順次引き渡し、11年3月の整備完了、13年3月の事業完了を目指す」と報道しました。



現場事務所前で工事現場を視察

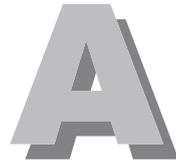
事業主体は遠賀川駅南土地地区画整理組合  
この事業は、遠賀町遠



ふたむら せいじ  
二村 誠司



(注)  
公共施設マネジメントの推進について町の考えは



施設の稼働状況や人口推計、維持管理コスト等を調査し進めていく



老朽化により今後、改修・修繕時期が集中する公共施設

公共施設マネジメントの推進は

**議員** 「公共施設等総合管理計画」改訂の進捗状況について尋ねる。

**町長** 令和3年度は、現計画の一部を修正したものを追加資料として、ホームページに公表した。

令和4年度は、前年度の派遣を受け、作業を進めている。令和4年10月末の時点で、各施設の固定資産台帳との連携作業を終え、各種中間評価を進めている。当初の予定通り令和4年度末の改定を目指している。

**議員** 計画実行の年数について尋ねる。

**行政経営課長** 現時点では、令和26年度末までの30年間で作業を進めている。

**議員** 令和3年度末に資料が追加された中で、今後40年の学校施設の維持に関して、従前の事後保全型と、予防保全型を比較した場合に、予防保全型の方がコストが上がるという結果が出ていることについて尋ねる。

結果が出ており、減価償却がかなり進んでいることによるものである。学校施設のみならず、多くの施設で減価償却が進んでおり、つまり老朽化が進んでおり、維持管理コストも膨らむことが予想される。そのコストをどのように抑えていくのが、公共施設マネジメントの目的の一つである。

**議員** 施設を所管する関係各課が集まり、部局横断的に議論できる場の構築として、討論部会等の設置をしているか尋ねる。

**町長** 現行の総合管理計画にも、この点は明記しているが、現時点では、公共施設マネジメント全般を議論していく場というのは設置していない。ただ、これまでも個別

施設計画の策定時や、老朽化し使用不可能となった施設のあり方を決定する際、必要に応じ目標達成まで期間を限定して、検討、議論をする場は設置してきた経緯はある。

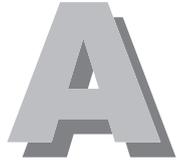
**議員** 長期にわたる計画実行において、推進体制の構築に若手職員も参加した仕組みづくりの必要性について尋ねる。

**町長** 今回質問の公共施設等の問題だけでなく、昨今においては、コロナ禍での住民への支援について全庁的に職員から意見を取っている。新人職員であつても、しっかりと考え方が上に上がってくるような形を進めている。

(注)公共施設マネジメント  
少子高齢化などの将来の人口動態と町民ニーズ、財政状況を見据えながら、公共施設の統廃合を視野に入れた、公共施設の総合的な管理計画の構築。



## ごみ袋料金の引き下げ、広域行政事務組合へ提案を



もえるごみ袋料金引き下げを提案する考えはないが、意見は伝える



たしろ じゅんじ  
田代 順二



遠賀・中間地域のもえるごみ袋

### もえるごみ袋料金 引き下げの考えは

**議員** もえるごみ袋料金の引き下げを広域行政事務組合に提案する考えはないか。

**町長** もえるごみ袋料金の引き下げは、住民生活の負担軽減につながることは十分承知しているが、総合的に考える必要がある。現時点では、ごみ袋料金の引き下げを提案する考えはないが、意見は伝える。

### 物価高騰対策について

**議員** 上下水道・電気・ガス料金の負担軽減の施策を実施してはどうか。

**町長** 未来へつなぐ生活支援商品券交付事業を展開しているが、これは物価高騰対策として講じた事業で、光熱費等の高騰を補填し、かつてない規模で直接給付を行っており、追加補助や減免等は

考えていない。しかし、今後厳しい状況も考えられ、適宜検討したい。

### 新型コロナウイルス 感染症対策

**議員** 全国的に感染者が増加傾向にあるが、本町の対策と課題を尋ねる。

**町長** 福岡県がオミクロン株対応の福岡コロナ警報を発動したので、社会経済活動との両立を図り、感染急拡大を防ぐため、住民、事業者等の皆さまに徹底した感染予防をお願いし、年内早期のワクチン接種をお願いしたものである。

課題は、社会経済活動を維持しながら感染拡大を防ぐために、オミクロン株対応ワクチンを希望する住民の皆さまに接種していただくことである。  
**教育長** 文科省から示されている新しい生活様式、衛生管理マニュアルに沿って、これらの感染症対策を継続するよう学校に

指導していく。

課題は、感染症対策の長期化、感染等による待機期間の緩和により、新型コロナウイルス感染症防止に対する意識が低下しつつあることを懸念している。学校関係者、児童生徒の意識が低下しないよう、感染症予防対策の周知を継続的に行い、協力をお願いしていく。

**議員** パルスオキシメーターの貸し出しを行っているか。  
**町長** 福岡県は、パルスオキシメーター約1万5000個を確保し、第7波相当の感染拡大が広まったとしても、十分に貸し出しできるとしている。また、県からパルスオキシメーターが届かないなど緊急を要する場合は、町が保有するものを貸し出している。

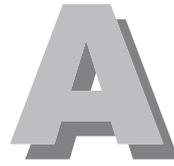
※この他にも「会計年度任用職員の賃上げ」について質問しました。



はぎ お おさき  
萩尾 修身



## シティプロモーション推進 で施策をどう発展させるか



様々な施策を効果的に結び、課題を整理して新たな展開を進める



シティプロモーションの取り組みで効果があつたふるさと納税

### シティプロモーションの推進は

**議員** シティプロモーションの推進で、従来取り組んできた施策をどう発展させるのかを尋ねる。

**町長** シティプロモーションについては、最終目的として移住・定住の促進や関係人口の拡大、それらによる地域の活性化を目指したものが施策として、子育て支援ガイドブックや暮らしの便利帳の配布、公式ホームページの更新と移住・定住特設ページの構築とSNSによる情報発信、イメージキャラクターの活用や特産品認定制度などの創設など、様々な施策の展開を行ってきた。これらを効果的に結び付けながら、課題を整理して新たな展開を進めている。

**議員** 効果的なアプローチの方法として、SNSの活用で具体的にはどのような戦略を立てている

のかを尋ねる。

**町長** SNSの一番の強みは即効性。この強みを生かし、静止画と動画をケース・バイ・ケースで使い分けながら、より効果的な情報発信を展開している。現在は動画を重視し、公式YouTube、LINEやインスタグラムの公式アカウントを活用し分かりやすく視覚的に訴えることをしている。

**議員** いろいろな世帯に対して、大人から子どもまで本町の応援団や、発信者になつてもらう取り組みは考えているのか。

**副町長** 取り組みとして、公式インスタグラムの町内外の方から本町の良いところや話題を投稿してもらい写真アルバムのような形で共同で作っている。広報誌には町民モデルを起用し、公式YouTubeでの動画への登場、各種イベントの住民参加による実行委員会など引き続き取り組んでいる。

**議員** 子どものふるさとに関連した教育を充実し、町に対するシビックプライドの醸成を図る教育の内容は。

**教育長** 児童生徒が郷土の自然や人間社会文化産業などと触れ合う機会を充実させ、そこで得た体験を重視することによってふるさとに関心を寄せ、ふるさとへの愛着心を醸成することを目指している。

**議員** 子どもたちや若者を巻き込んだ協働参加が必要と考えるが、現在行っている夏まつりなどの事業についてどう考えているか。

**町長** 子どもや若者を巻き込んだ部分においては難しい部分もあるが、イベントにおいては、実行委員会形式を採用して協働による取り組みを続けている。

(注) シビックプライド  
まちに対する住民の誇り、愛着、共感。

# COUNCIL 議会ニュース NEWS

## 町村議会議員研修会

令和5年1月12日、福岡国際会議場にて、福岡

県町村議会議長会主催の研修会に参加しました。元逗子市長の平井竜一

さんを講師に「行政を動かす一般質問」との内容で講演されました。

議員によっては調べればわかることを聞いたり、重箱の隅をつつき批判して終わるような一般質問も多いが、方法によっては行政を動かす一般質問もできます。

平井さんは、3期12年の市長の経験をもとに、行政を動かすには

- ・町の将来ビジョンと合致した政策を示す。
- ・具体的解決策を示す。

・財源と政策の優先順位を明確にする。  
 ・などに留意して一般質問をする必要があると話されました。  
 ・また、一般質問単独では行政を動かすことは難しく、質問以外のところでは、

- ・行政とコミュニケーションをとり、良好な関係を作る。
- ・町民と協力する。
- ・同僚議員の賛同を得る。
- ・SNSやマスメディアを活用する。

ことなどが重要であると話されました。  
 今回の研修で、行政を動かす質問をすることの重要性をあらためて認識しました。



講師の平井竜一さん

## 遠賀郡町議会議長会 議員研修会

10月25日、岡垣サンリ

ーアイにて「大規模災害発生時の自衛隊の役割について」との演題で陸上自衛隊小倉駐屯地の吉山将志3等陸佐による講演があり、大規模災害時の自衛隊の活動状況と、今後の課題について講演されました。

自治体が災害派遣の効果果を最大限得るためには、平素からの準備が必要で、



講師の吉山将志さん

## 議会広報モニター募集

町民の皆さんからご意見やご感想等を幅広くお聴きするため議会広報モニターを募集します。

### ●仕事内容

「議会だより」について意見を述べ、アンケート調査等への回答及びモニター会議への出席(年2回程度)です。

### ●対象

- ①本町に在住の方
- ②議会広報に関心ある方

自衛隊と自治体の連携力を強化するとともに、避難計画の作成及び訓練に至るまで、判断力、行動力を養うことが必要であると感じました。

③常勤の公務員でない方

●募集人数 5人以内

●任期 令和5年4月1日より6年3月31日

●申込方法 申込用紙に記入後提出してください。

●締切 3月27日(月)

●その他 予算の範囲内で報償します。

●申込み・問い合わせ 遠賀町議会事務局

TEL 093(293)1235

## 次回の定例会は 3月です

詳しい日程は、2月下旬に遠賀町ホームページ (<https://www.town.onga.lg.jp>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター ※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

## あ と が き

地方議員のなり手不足は深刻である。前回の2019年統一地方選挙では、41道府県議選で無投票率が27%、町村議選では23%で、共に過去最高であった。定数割れとなった議会も8町村あった。今後、人口減少と高齢化・過疎化が進めば、同様の自治体が増えることが想定される。本町も例外ではない。

自営業・農林水産業の職を持つている兼業議員が多く、その他は定年退職者が大方である。

また、町村議会議員の構成は、女性の割合は1割台で、60歳以上の割合は77%に達している。

多様な人材を確保するには、議員なり手不足の対策をたて、若者議員・女性議員が増えることを望む。

平見 光司